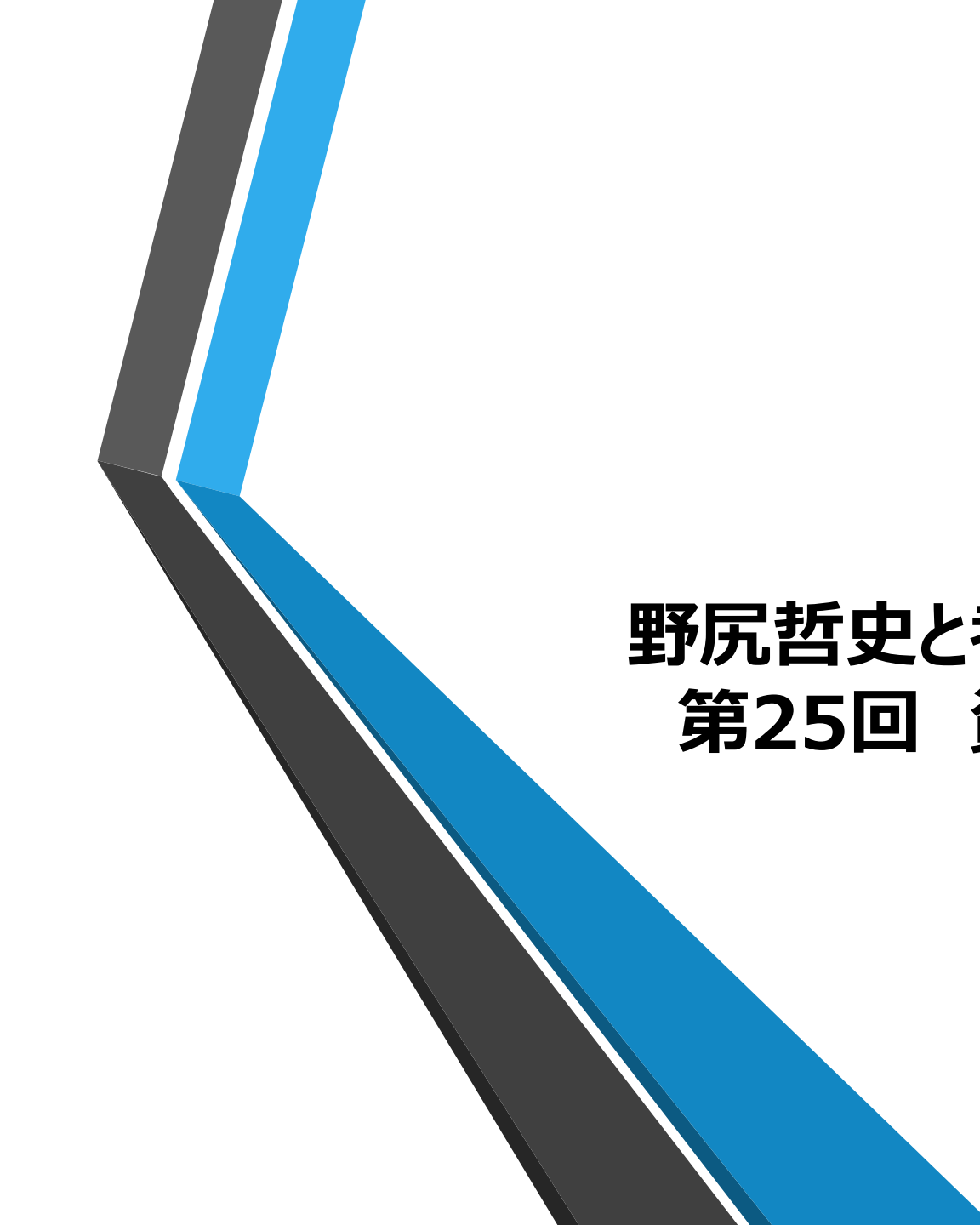




野尻哲史と考える！殖やした後の減らし方

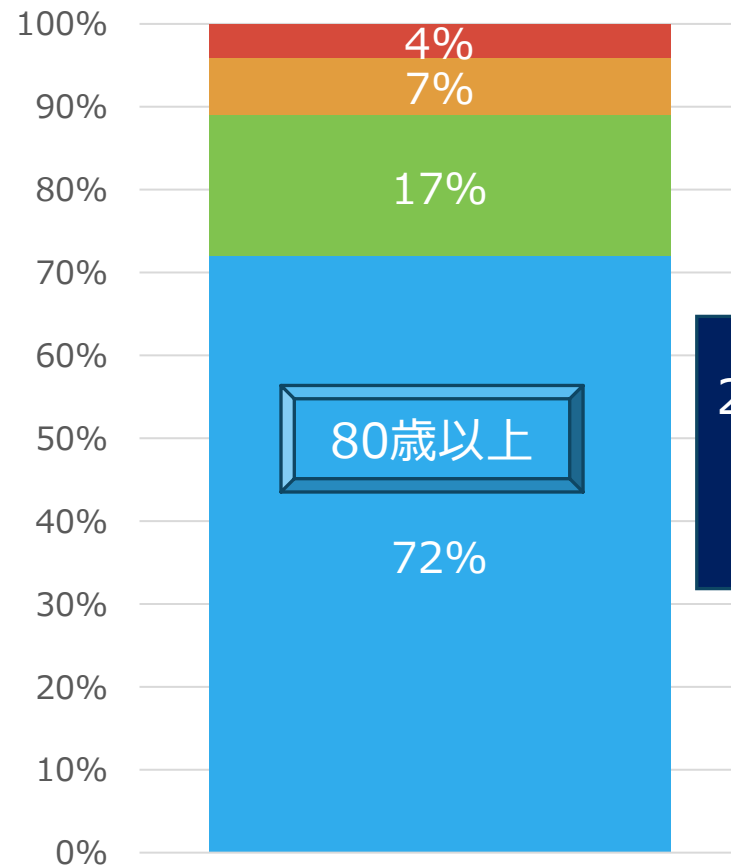
第25回 資産を上手に相続するために

2026年9月18日

合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史

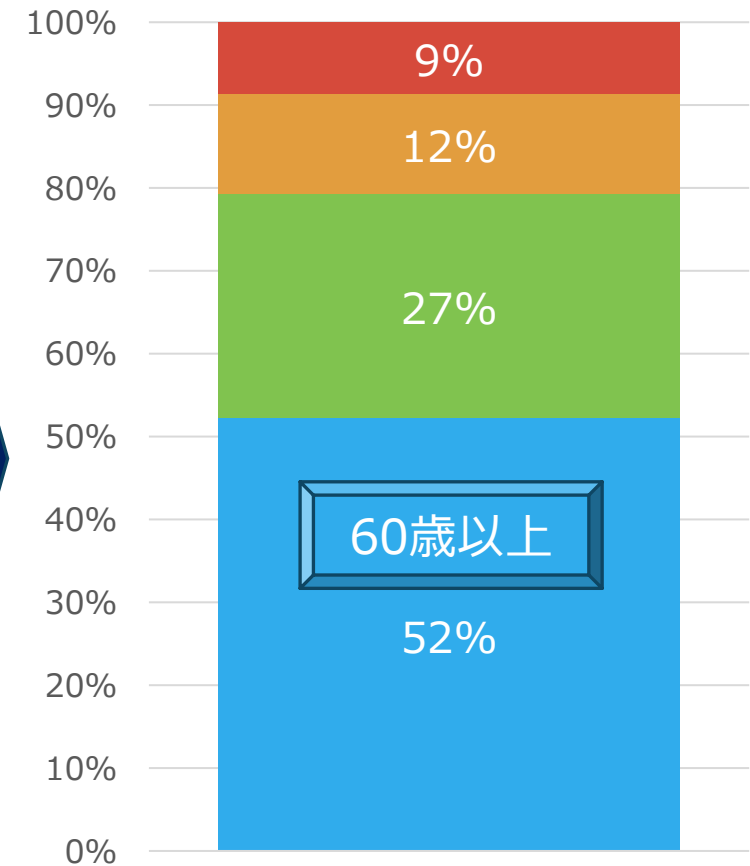
被相続人と相続人の年齢構成



被相続人の年齢構成

■ 80歳以上 ■ 70代 ■ 60代 ■ 59歳以下

2023年、相続にかかる
課税価格総額
21.6兆円



相続人等の年齢構成

■ 60歳以上 ■ 50代 ■ 40代 ■ 39歳以下

令和6年度「経済財政白書」よりフィンウェル研究所作成

有価証券比率低下の3つの段差

DC : 9割以上が一時払いで引き出す
⇒制度上、一度、現金化
⇒有価証券でロールオーバーできないか

土地や保険に比較して
有価証券は相続評価で不利
⇒相続が近づくと現金化(=保険化)
⇒有価証券の評価を見直せないか

認知・判断能力の低下で成年後見制度を
利用すると、資産保全の名目で現金化
⇒最近、代理人制度が登場。普及するか

有価証券比率

使いながら運用する考え方の普及

現役時代

退職後

30歳

65歳

100歳

重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所